

学校給食には、笑顔がいっぱい。

「今日の給食はなにかな?」「揚げパンってよ」「もずくぞうすいが食べたい!」…子供たちの間では、毎日のように給食の話題でもりあがります。今月は、笑顔いっぱいの給食時間をちよつとのぞいてみましょう。



※この日のメインは
揚げパン!!

きな粉や砂糖がまぶされた何とも言えないおいしさで今も昔も子供たちに大人気!



4時間目終了のチャイムが鳴ると、給食当番はいち早く着替えてみんなの給食を取りに向かいます!大変だけど、教室ではたくさんのお友達が楽しみに待っている…。とても重要な役割です。



「いただきます!」

子どもたちの通う小中学校では、今日も元気な声が聞こえてきます。

給食時間というのは、学校生活の中でも特別なひとときだと思いませんか?

友だちと一緒に食べる事によつて、食事に対する楽しさを子どもなりに見つけ、嫌いな野菜もいつの間にか全部食べてしまうことも…。給食にはそんな不思議な力があります。

一日で1万4800食

うるま市には6つの給食センターと、津堅小中学校の学校調理場があり、市内の小中学校33校約1万4500食と預り保育の300食の学校給食すべてをまかなっています。

魅力ある献立作り

学校給食の魅力の一つは、なんととっても優れた栄養バ

1月24日~30日は
全国学校給食週間



ランス。成長期の子どもたちにとって、バランスのとれた食事は何よりも大切です。

一日に必要な栄養をおいしくとつてもらうため、センターでは調理法の研修会を開いたり、給食訪問をして直接子どもたちの意見を聴いたり、日々給食に関する研究をしています。

大切な給食費

現在うるま市の給食費は、小学校が一人当り月額3800円(食210円)、中学校は4300円(食240円)となっており、全額が給食時間に出される食材にあてられています。(その他人件費等は、市が負担) 子どもたちに豊富なメニューを提供するための大切な給食費です。忘れずに納めましょう。